

畜産ネットワーク ちば

2022年10月24日

第55号

発行所 公益社団法人千葉県畜産協会
〒260-0021
千葉市中央区新宿1-2-3
K&T千葉ビル3階
発行人 森 英介

千葉の畜産を 『食べよう』『話そう』『知ろう』!

@三井アウトレットパーク木更津

千葉県畜産フェア

例年、秋に船橋競馬場で実施されていた畜産フェアを、
4年ぶりに対面にて開催! 今年は三井アウトレットパーク
木更津に会場を移し、3日間にかけて行われます!!

日時: 11月3日(木・祝)・4日(金)・5日(土)

11:00~17:00

場所: 三井アウトレットパーク木更津 ピアストリート



☆農畜産物の販売

卵・卵加工品、豚・牛の焼肉・加工品、牛乳(試飲)・
乳製品、はちみつ、旭市産ピッグスキンレザー加工品など
千葉県産品の販売。

キッチンカーによる県産牛肉・豚肉料理の販売も。

☆大抽選会

畜産フェア内のお店でお買い上げ毎にもらえる抽選券で
豪華畜産品等が当たる!(1会計につき1枚抽選券を配布。)

その他、展示・体験コーナーなどを設置、皆様のご来場をお待ちしております。

※販売や抽選など時間内に終了・売切れの際はご容赦ください。



【主催】

公益社団法人千葉県畜産協会
千葉県畜産物消費拡大推進協議会
千葉県畜産フェア実行委員会

【後援】

千葉県

【お問合せ先】

公益社団法人千葉県畜産協会
TEL.043-242-5417

【協賛・協力】

NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター
一般社団法人旭市観光物産協会
かずさ牛肥育研究会『かずさ和牛』
小六茶屋(キッチンカー)
全国農業協同組合連合会千葉県本部
せんば牛グループ『せんば牛』
千葉県牛乳普及協会
千葉県食肉事業協同組合連合会
千葉県馬事畜産振興協議会
千葉県養蜂協会
千葉県酪農農業協同組合連合会
千葉県卵業協会
チバザビー協議会

チバザパーク販売推進協議会
千葉県直ビーフ研究会『しあわせ絆牛』
千葉県酪農農業協同組合
ナイスボークチバ推進協議会
房総ボーク販売推進協議会
㈱シェフミートチグサ
㈱食育ネット
㈱惣左衛門『柏幻霜ボーク』
㈱千葉県食肉公社『マーガレットボーク』
㈱堀江ファーム
㈱ジェリービーンズ『元気豚』
㈱柴畜産『日の出ボーク』

令和4年度 定時総会の開催

令和4年6月27日、千葉市・プラザ菜の花において、当協会の令和4年度定時総会を開催し、令和3年度貸借対照表、損益計算書及び財産目録の承認について他全4議案について承認されました。

令和に入って3年目となった昨年も、市民生活や畜産業界において感染症に大きく影響を受けた年となりました。

新型コロナウイルス感染症については、緊急事態宣言等の制限措置が度々繰り返され、経済活動が大きく停滞しました。

このような中、養鶏業界では高病原性鳥インフルエンザ発生があり、養豚業界では、県外でワクチンブレイクによる豚熱の発生があるなど、伝染病の発生防止が経営上の課題となってきています。

また、酪農においては、生乳消費が落ち込む中、生乳廃棄の危機が危惧される時期があり、飼料価格も高騰するなど、肉用牛農家とともに経営は依然として厳しい状況となっています。

一方で、本県では豚肉価格は安定的に推移し、牛肉価格も回復するなど、令和4年度のスタートに当たり明るい兆しも見えています。

新年度において当協会では、コロナ対策に機動的に対応しながら、安全・安心な畜産物を生産・流通させる体制づくりのため事業を実施していきます。

酪農生産においては、昨年一部休止していた牛伝染性リンパ腫やBVDの清浄化対策や生産技術の指導のためコンサルタント派遣などの事業を引き続き実施します。

肉牛生産に関しては、「肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）」などの的確な運営に努めるとともに、事務局であるチバザビーフ協議会を中心に共励会の開催等により県産牛肉のアピールに努めていきます。

特に、本年は鹿児島県で開催される「全国和牛能力共進会」に、千葉県として25年ぶりに出場することとなっており、これを機会に、さらなる和牛のブランド力の向上を図っていきます。

養豚生産においては、養豚経営安定交付金などの制度を着実に実施するとともに農場HACCP制度や協会単独で開始した「生産農場衛生対策緊急強化事業」の実施を通じて農場衛生水準の向上に努めていきます。

畜種全般においては、一昨年よりWEB開催へ変更している千葉県畜産フェアや各種イベント、研修会などについても例年どおりの開催を目指します。

こうした各種事業を効率的、効果的に進めることで、生産者等との連携強化を進め、生産者の要望や意見等の集約を図り、関係機関等への発信に努めます。

さらに、緊急的な課題や当協会独自の事業についても積極的に取り組み、様々な場面で関係者の信頼確保に努めてまいります。（総務・企画部 武田）

(公社) 中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

がんばる! 畜産!5

畜産現場の“今”を30分の番組にしました!
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください!
配信中の内容: 畜産の最新研究・技術を見る/豚の肉質を中心とした育種改良技術/鶏肉特集第1弾江戸文化を受け継ぐ東京しゃもを大特集! / 他

◀スマートフォンからはこちら
▼パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産



(公社) 中央畜産会 経営支援部(情報) TEL03-6206-0846

第12回全国和牛能力共進会（代表牛決定から出発式まで）



「全国和牛能力共進会」は、全国の優秀な和牛を一堂に集めて、改良の成果やその優秀性を競う大会で、全国の和牛関係者にとって、この大会で優秀な成績を収めることは、和牛ブランド力の向上につながることから、最も重要な大会となっています。

千葉県では、25年ぶりの出場に向け様々な取り組みを行い、令和4年10月6日（木）～10日（月・祝）の5日間にかけて行われた「鹿児島県大会」に肉牛の部（第8区）に2頭、高校及び農業大学の部（特別区）に1頭出品いたしました。

残念ながら大きな賞を受賞することこそ叶いませんでしたが、第8区・特別区ともに想定以上の『大健闘』といった結果に終わり、5年後の「北海道大会」参加に向けての励みとなりました。

応援くださいました皆様本当にありがとうございました。

本大会での様子は次号にて詳しくお伝えすることとし、今回は先に行われた「千葉県最終審査」及び大会直前の「出発式」の模様をお届けいたします。

千葉県最終審査 (R4.7.21)

最終選抜は巡回方式で行われました。

公益社団法人全国和牛登録協会から審査員1名、県の出品委員3名が審査にあたりました。

◆ 肉牛の部（第8区 去勢肥育牛）



井村牧場(井村幸雄) 「諸加福7122」
JP16142-71220 R02.10.10生



(株)高梨牧場(高梨裕市) 「卓3813」
JP16122-38133 R02.10.18生

◆ 高校・農業大学の部（特別区）



千葉県立安房拓心高等学校(安房拓心高校畜産部)
「しらぎくひめ」 JP16126-4760-7 R03.03.06生

第8区での代表牛に、井村牧場（井村幸雄）及び(株)高梨牧場（高梨裕市）の肥育牛を選出。

補欠牛：岩淵牧場(岩淵義徳)「八房8980」

特別区での代表牛には、千葉県立安房拓心高等学校の「しらぎくひめ」を選出。

補欠牛：同校「さくらひめ」

出発式 千葉県家畜市場 (R4.10.2)

代表牛3頭を載せ発進、決戦の地「鹿児島県」までは約1日半かかる長い道のりとなります。

事故なく無事、現地まで到着するよう祈願し、車が見えなくなるまで皆で見送りました。



お問合せ先：全国和牛能力共進会千葉県実行委員会事務局（千葉県肉牛生産農業協同組合）
TEL:043-233-5657 FAX:043-233-0228

肉用子牛生産者補給金制度に係る保証基準価格等について

本制度は肉用子牛の価格が低落した場合に、生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定等を図ることを目的としております。（総務・企画部 武田）

◆ 肉用子牛の保証基準価格及び合理化目標価格

（単位：円／頭）

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	541,000	498,000	320,000	164,000	274,000
合理化目標価格	429,000	395,000	253,000	110,000	216,000

◆ 生産者積立金・負担金

（単位：円／頭）

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
生産者積立金	1,600	6,000	18,800	6,800	3,200
負担内訳（割合） 国（機構）（1/2）	800	3,000	9,400	3,400	1,600
県（1/4）	400	1,500	4,700	1,700	800
生産者（1/4）	400	1,500	4,700	1,700	800

◆ 発動状況

令和4年度第1四半期（令和4年4月～6月）については、生産者補給金の発動はありません。

【令和4年4月～6月の平均売買価格及び補給金単価】

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
平均売買価格	668,500	553,100	-	210,000	293,300
補給金単価	-	-	-	-	-

※「その他の肉専用種」（日本短角種等）については、令和2年度から算定期間を1年（4月～3月）としている。

◆ その他

令和4年度は個人経営を中心に現地調査を行いますので、ご準備・ご協力をお願いいたします。

酪農家・肉用牛農家の皆様へ

牛トレーサビリティ制度 あなたの牛は大丈夫？

牛トレーサビリティ制度は、色々な場面で活用されています。
牛の出生や異動の届出は、速やか、かつ正確に行いましょう。

牛トレーサビリティ制度に関するお問い合わせは…

- ・ 関東農政局 消費・安全部 水産安全管理課 TEL：048-600-0600
- ・ 関東農政局 千葉支局 牛トレーサビリティ110番 TEL：043-380-0778

肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）

本制度はTPP11の発行により法制化され実施されています。肥育牛1頭当たりの標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、差額分の9割が交付されます。肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）に加入して経営の安定を図りましょう。（総務・企画部 武田）

◆ 令和4年度の登録肉用牛1頭当たりの負担金単価

令和4年度の登録肉用牛1頭当たりの負担金単価は下記のとおりです。

品種区分	肉専用種	交雑種	乳用種
負担金単価	14,000 円/頭	19,000 円/頭	19,000 円/頭

注：肉専用種においては、千葉県の実負担金単価。（交雑種及び乳用種は全国一律）

◆ 交付金の交付状況

令和4年度第1四半期（令和4年4～6月）において、下記のとおり交付されております。

【令和4年4月～6月販売分の交付金単価（確定値）】

（単位：円/頭）

区分		標準的販売価格 (A)	標準的生産費 (B)	差額 (C)=(A)-(B)	交付金単価 (D)= (C) ×0.9
令和4年 4月	肉専用種	1,257,169	1,110,026	147,143	-
	交雑種	765,903	686,601	79,302	-
	乳用種	454,395	498,732	△44,337	39,903.3
令和4年 5月	肉専用種	1,210,575	1,113,291	97,284	-
	交雑種	750,114	724,986	25,128	-
	乳用種	463,073	510,034	△46,961	42,264.9
令和4年 6月	肉専用種	1,215,805	1,116,758	99,047	-
	交雑種	724,691	759,068	△34,377	30,939.3
	乳用種	463,955	512,724	△48,769	43,892.1

注：交付金は1円単位で交付となります。

◆ 牛マルキン制度では繁殖雌牛や種雄牛は対象となりませんのでご注意ください！

牛マルキン制度は、肉用牛経営の安定を図る制度です。このため、肥育以外の目的に仕向けられた牛（繁殖雌牛や種雄牛）は交付金の交付対象となりません。（一部の一産取り肥育等は除く。）

繁殖雌牛や種雄牛を誤って申込んだことが分かった場合や、申込の後に繁殖に仕向けた場合は、速やかに本会に報告の上、「異動報告書（または削除依頼書）」を提出してください。

なお、すでに納付された生産者積立金は返金できませんが、業務対象年間終了後の基金の残額の返還の対象にはなりません。

繁殖雌牛（搾乳牛含む）



種雄牛



わたしたち森久保薬品は
人と動物の「これから」を真剣に考えています。

 森久保薬品株式会社
http://www.morikubo.co.jp



畜舎特例法が施行されました

令和4年4月1日から新しい法律「畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律」（「畜舎特例法」）が施行されました。都道府県に畜舎建築利用計画の申請を行い、認定を受ければ、建築基準法の適用を受けず、畜舎特例法の基準等により畜舎を建てることができます。

畜舎特例法は、畜舎の利用に関する**利用基準**と構造等に関する**技術基準**との組み合わせにより畜舎の安全性が確保されます。



対象となる畜舎

- **畜舎**※1（搾乳施設を含む）又は**堆肥舎**※2
 - **市街化区域外・用途地域外**の地域に建築
 - **高さ16m以下**の**平屋**で居住のための居室を有さないもの
 - **建築士が設計**したもの
 - **新築、増築、改築**及び**構造に変更を及ぼす行為**を行う際に申請可能
- ※認定を受けた畜舎・堆肥舎は用途を変更（飼料保管庫など）することはできない



※1 ①ペットの飼育施設、②競走馬・乗用馬の厩舎及び堆肥舎、③農業用機械や飼料・敷料の保管庫は、畜舎特例法の対象外です。
※2 家畜排せつ物の処理又は保管のためのものが対象となります。家畜排せつ物以外の物を処理等するものは畜舎特例法の対象外です。

畜舎特例法のメリット

- **建築確認が不要になります**
- **構造等に関する技術基準が緩和されます**
利用基準を遵守することにより、構造等に関する技術基準の一部が建築基準法より緩和されます。これにより、建築基準法で建てる畜舎に比べてコストを抑えることができます。
- **一棟あたりの床面積3,000㎡以下は技術基準の審査等が不要になります**
床面積が3,000㎡以下の畜舎・堆肥舎は、敷地、構造、設備に関する技術基準についての審査が不要となります。
- **木造の畜舎の間を渡り廊下でつなぐことで3,000㎡を超えられるようになります**
木造の畜舎を渡り廊下で隔て、隔てられた畜舎の床面積をそれぞれ3,000㎡以下とし、その畜舎同士の間には畜舎の高さ分の距離を確保し、一定の利用基準※3を遵守することで、合計3,000㎡を超えることが可能となります。※4
- **工事完了時は届出で済みます**
工事完了時は完了検査は不要で、届出のみで済みます。

※3 定期的な消火訓練、火を使用する設備等の周辺や渡り廊下に可燃物を存置しないことについて記録を作成し、少なくとも1年間保存する。

※4 ただし、渡り廊下でつなぐことで3,000㎡を超える場合には技術基準の審査は必要となります。

農林水産省

畜舎特例法の基準

畜舎の構造、防火等に関する**技術基準**と、畜舎の利用方法に関する**利用基準**の両方を守る必要があります。

A 構造畜舎等

技術基準

中規模の地震動（震度5強程度）に対して、損傷が生じないような構造等の基準

利用基準

○ A・B 構造畜舎等共通

- ・夜間（夜10時から朝4時）に畜舎内で睡眠しない
- ・避難経路の確保
- ・A又はB構造畜舎等であることの表示

B 構造畜舎等

技術基準

中規模の地震動に対して、損傷が生ずる可能性があるが、倒壊しないような構造等の基準

○ B 構造畜舎等のみ

- ・下記表の滞在者数・時間以下にする
- ・定期的な避難訓練に関する記録保存

面積	延べ滞在時間	最大滞在者数
0㎡～1,000㎡	8時間・人	4人
1,000㎡超～2,000㎡	16時間・人	8人
2,000㎡超～3,000㎡	24時間・人	12人
3,000㎡超～	32時間・人	16人

畜舎特例法による具体的な手続例

申請者

畜舎建築利用計画の作成

【記載事項】

- ① 申請者の氏名
- ② 畜舎等の種類・所在地・規模・間取り
- ③ 設計者の氏名・建築士の資格
- ④ 畜舎等の敷地・構造・建築設備
(3,000㎡以下は不要)
- ⑤ 利用の方法
- ⑥ 畜産業の内容
- ⑦ 工事の着手予定日・完了予定日
- ⑧ 関係法令の遵守状況 等

都道府県

都道府県知事の認定

【認定基準】

- ① 敷地が市街化区域外・用途地域外
- ② 高さ16m以下、平屋、居住のための居室を有しない
- ③ 建築士が設計
- ④ 敷地、構造及び建築設備が技術基準に適合
(3,000㎡以下は不要)
- ⑤ 利用の方法が利用基準に適合
- ⑥ 関係法令を遵守しているか 等

都道府県

認定の通知

申請者

工事着工

工事完了の届出

申請者

民間機関による技術基準事前審査

都道府県によっては、④畜舎等の敷地・構造・建築設備(3,000㎡を超えるもののみ)に関する審査を事前に民間機関で行う仕組みを導入。この仕組みを利用した場合、④について都道府県での審査を省略可能。

申請は農林水産省共通申請サービス (eMAFF) を通じてオンラインで受け付けます。

詳しい内容については、建築予定の都道府県の畜産担当課
又は農林水産省畜産局企画課 (TEL:03-3502-5992) へお問合せ下さい。
千葉県の場合: 畜産課 企画経営室 (TEL:043-223-2777)



畜舎特例法

検索

農林水産省HP「畜舎等の建築等について」もご確認ください！
https://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/lin/_tiku_manage/chikusya.html

NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信

1. 令和4年度通常総会及び第1回畜産研修会の開催

令和4年度通常総会がコロナ渦の中3年ぶりに6月14日（火）千葉市生涯学習センター小ホールに於いて開催されました。出席者は会員総数77名のうち、64名が出席（内、委任状33名）、来賓12名のもと開催されました。

ご来賓から公益団法人中央畜産会 守永美夫 様のご祝辞をいただいた後、宮島副理事長が議長に選出され、議長から3議案が提出され、慎重に審議した結果、すべて原案のとおり可決されました。

総会終了後の畜産研修会では、千葉県農林水産部畜産課の笠井主幹による「県内で発生した高病原性鳥インフルエンザの防疫対応について」、県内での令和2年度、3年度の高病原性鳥インフルエンザ発生時の防疫体制や防疫措置等（R2年度防疫措置に要した人員 延6.6万人以上）についてご講演いただき、次に当NPO副会長（元農林水産省衛生課長）宮島副理事長からは「農場HACCP認証制度のスタートアップー取組課題と対応の足跡ー」農場HACCP認証制度検討に到るまでの取り巻く環境の変化、認証制度導入にあたっての取組課題と対応等についてわかり易く丁寧に講演をいただきました。（出席者52名）。



2. 今年度の主な事業の推進状況

(1) 農場HACCP構築支援指導（公益社団法人中央畜産会）

本事業は今年度新たな3年間事業として出発します。現在農場HACCP認証構築指導に取り組んでいる農場の認証に向けてより一層の推進を図っていく予定です。また、県内の認証農場（59農場）も多くなっていることから計画的な認証農場への内部検証等更なる飼養衛生管理強化向上の支援に努めていきます。

(2) 死亡牛等の受入及び保管等補助業務受託（千葉県・公募）

昨年同様に中央家畜保健衛生所（佐倉）との委託契約に基づき「死亡牛等の受入及び保管等の業務を補助する業務」を取組んでいます。（会員4名、1年間：184日）

(3) 畜産研修会

千葉市内等2回開催予定（1回：総会後実施し終了、2回：来年1月～2月新型コロナ状況を鑑み計画。）

(4) 外国人技能実習生を対象とした研修会の開催（出前研修）

外国人技能実習生を対象とした家畜衛生の研修のため、パンフレットを希望する農場へ配布するとともに、農場へ都合の良い時間に通訳を伴い出前研修会を実施します。

3. 畜産フェアに出展します！！

11月3日（木）～5日（土）に木更津アウトレットで開催される“千葉県畜産フェア”に当NPOは農場HACCPパネル展示、消費者アンケート調査、畜産物販売（現在；牛乳、チーズ、生卵、菓子類、焼き肉等の販売を予定）及び「畜産なんでも相談コーナー」を開設します。会員の参加者を募集します（交通費実費支給）。協力いただける方はNPO事務局までご連絡ください。

4. 農場HACCP構築希望農家を募集しています

当NPOでは農場HACCP認証構築を希望する農家のご参加を募集しています。農場HACCP指導員を派遣して認証構築に向け各農場に即した体制や文書・記録づくりを支援します。

◎入会申込み・畜産に関する御相談等をお待ちしております。

お問い合わせ：NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター事務局（千葉県畜産協会内）

TEL：043-241-1738 FAX：043-238-1255



チバザビーフ協議会報



チバザビーフ協議会は千葉県産の「うまい牛肉」のPR活動を行っています

◆枝肉品評会 (R4.6.29)

東京都中央卸売市場食肉市場において、第18回となる枝肉研究会を開催いたしました。

今回も実施内容は枝肉審査及び枝肉のセリ販売のみとし、当日の審査講評及び褒章授与式は中止としております。(結果のみ後日送付。)

■ 出品区分及び頭数

黒毛和種 38頭 (去勢32頭、雌6頭)

交雑種 25頭 (去勢18頭、雌7頭) 計 63頭

■ 黒毛和種の部

(単位: kg・円)

区分	上場番号	生産者名称	性別	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm ²)	枝肉単価(円/kg)	枝肉金額(円)	褒賞
最優秀賞	24	高山 和視	去勢	552	116	2,741	1,513,032	千葉県知事賞
優秀賞	4	合同会社諸川牧場	去勢	538	92	2,781	1,496,178	千葉県畜産協会会長賞
優良賞	31	(株)高梨牧場	去勢	569	111	2,754	1,567,026	東京食肉市場株社長賞

■ 交雑種の部

(単位: kg・円)

受賞	上場番号	生産者名称	性別	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm ²)	枝肉単価(円/kg)	枝肉金額(円)	褒賞
最優秀賞	62	(株)御子神畜産	雌	550	70	1,637	900,350	千葉県知事賞
優秀賞	57	(株)えびすファーム	去勢	639	59	1,702	1,087,578	千葉県畜産協会会長賞
優良賞	60	(株)増田畜産	雌	644	76	1,567	1,009,148	東京食肉市場株社長賞

◆令和4年度通常総会 (R4.7.26)

ホテルマイステイズプレミア成田(成田市)において通常総会を開催いたしました。対面での実施は3年ぶりとなり、千葉県、関係団体・企業、生産者等約50名の出席をいただきました。

通常総会では、令和3年度事業報告等全4議案を上程、いずれも原案どおり可決承認されました。

また、役員の変更に伴い会長、副会長の互選を行う臨時理事会を開催。その結果、会長には宮澤武志氏、副会長には岩淵義徳氏、大川修一氏がそれぞれ再任となりました。

◆活動状況報告

☆「チバザビーフVSチバザポーク」【千葉テレビウィークリー千葉県】(2022.9.24放送)

5分拡大版の特別番組として「チバザポーク」と「チバザビーフ」が特集されました。

チバザビーフからは、鴨川市の(株)高梨牧場と高梨牧場で育った「かずさ 和牛」を食べることができるレストラン「チェルカトローヴァ(鴨川市)」が紹介されました。放送の様子は、YouTubeの千葉県公式PRチャンネルなどでもご覧いただけます。



瞳は未来を見つめてる。



動物 未来 みつめる ひろがる



動物用医薬品 製造販売

日本全薬工業株式会社

福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1



1. 令和4年度通常総会…3年ぶり対面開催 2022/6/3

3年ぶりとなる通常総会は、千葉市内オークラ千葉ホテルにおいて100名規模により対面形式で開催されました。青柳会長から「生産者を悩ます豚熱対策は、適格なるワクチン接種と衛生管理基準の遵守が豚熱発生を食い止める対策の両輪と考えている。しかしながら、ワクチン接種に關し度重なる要請も、なかなか前向きな対応が得られず、ワクチン接種農場での発生が続いており、身近に迫るアフリカ豚熱（ASF）にも大きな脅威を感じています。また、昨年以降、世界で起こる様々な影響が重なり、想像を超える飼料価格の高騰は、好転する要素も見えません。経営存続の危機感を強く持ち、生産者への支援を県、国に要請している。」と、厳しい状況と対応を報告。

ご来賓では、森 英介衆議院議員、猪口 邦子参議院議員、實川 隆県議会議員・自民党畜産議連会長他関係団体等出席者からご挨拶を頂きました。



総会では、令和3年度事業報告等、予定された3議案が承認。

また、旭市養豚推進協議会 柴田 行雄会長から要望書が提出されました。

- (1) 配合飼料価格高騰に係る要望書
高騰する配合飼料価格に対する助成制度の設立
- (2) 野生イノシシサーベイランスに係る要望書
野生イノシシサーベイランス体制の拡充及び検査頭数の増加

記念講演は、豚熱対策として『発生事例から学ぶCSF対策』と題し、アイデアス・スワインクリニック院長・獣医師 早川 結子先生から現場に即した内容で講演されました。

そして総会閉会に際し、2020年10月に完成しコロナ感染の影響からなかなか披露する機会少なかったことから、事務局から作成に至る概要を報告し、総会関連行事の一環として着ぐるみ「ちーとん君」を披露しました。



2. (一社) 日本養豚協会 (JPPA) 令和4年度通常総会開催 2022/6/23

令和4年度通常総会は都内港区芝公園・東京プリンスホテルにおいて生産者、賛助会員、ご来賓合わせて200名程が参加して開催されました。コロナ感染拡大により、対面での開催は3年ぶり。香川 雅彦会長から挨拶、来賓として自民党養豚農業振興議連副会長の坂本 哲志 衆議院議員、農林水産省 伏見 啓治 大臣官房審議官からご祝辞を頂きました。

予定された全議案が承認され、新たに執行部が選出・決定されました。

<新執行部>

会長	香川 雅彦 (宮崎県)	会長代行	塩澤 英一 (千葉県)
筆頭副会長	石川 輝芳 (宮城県)	副会長	中岡 勝 (北海道)
副会長	岡部 康之 (全国ブロック)	副会長	山口 昌興 (神奈川県)
"	山本 孝徳 (愛知県)	"	竹延 哲治 (全国ブロック)
"	佐竹 宣昭 (高知県)	"	福田 実 (大分県)

◎19名の理事の中で関東ブロック選出役員6名及び監事1名

理事	青柳 耕一 (千葉県)	上原 章男 (埼玉県)
"	櫻井 宣育 (茨城県)	川上 弾 (長野県)
"	田中 一広 (栃木県)	齊田 和則 (群馬県)
監事	林 篤志 (群馬県)	

3. 関東養豚協議会開催し要請事項協議 2022/7/20

関東8県（神奈川・千葉・茨城・栃木・群馬・埼玉・山梨・長野）で創る関東養豚協議会の活動は、共通の話題から問題点を探り、将来安定した養豚経営を図るため年2回開催しています。

令和4年度は長野県が当番県として、東京渋谷区所在の全理連ビル会議室において第1回目となる会議が開催、8県から29名が出席いたしました。（一社）日本養豚協会から出された課題を踏まえ、要請すべき内容を協議し、長野県で取り纏め、後日JPPAに対し要請を行いました。

豚熱対策等に関する緊急要請の内容（抜粋）

1. ワクチン接種・方法の対応
 - ※薬機法に基づく用法、用量の改正によりワクチン2回接種などの複数回接種の実施を国へ要望
 - ※適時ワクチン接種できるような体制を構築する
 - ※ワクチン接種適期の把握と効果
2. 野生イノシシ対策
 - ※野生イノシシの徹底的な駆除を官民あげて推進する
 - ※新型経口ワクチンの開発
3. 発生農場の殺処分対応と処置
 - ※豚熱発生農場における全頭殺処分の回避検討を国へ要望すること
 - ※緊急時に備え、移動式レンダリング装置の設置と活用
4. ASFの発生が国内で認められた場合の国の対応について
 - ※予防的殺処分については、法定の補償に加え義援金の支給を検討するよう要望
5. 飼料高騰対策
 - ※異常補填基金の積み増しに加え自家配合用の単味飼料についても対策を講じる
 - ※豚マルキンについて現状にあった生産費で発動するなど運用改善を講ずること

4. 成田空港防疫キャンペーン 2022/8/10

農林水産省動物検疫所成田支所からの要請を受け、成田国際空港第1ターミナルにおいて、防疫のためのキャンペーンを実施いたしました。同キャンペーンは海外から持ち込みが禁止されている畜産物（肉製品）の持込禁止の注意喚起であり、新型コロナウイルスによって規制されていた旅行者受入が6月より緩和されたことから、入出国者が多くなる夏休み期間に開催。



参加者は16名（生産者及び事務局11名、畜産協会2名、県家畜保健衛生所2名、JPPA1名）が参加し、オリジナルTシャツを着用し海外からのウイルス侵入が生産者にとって深刻な問題になることなど、「肉製品持ち込み禁止」の声掛けを行ないました。



また、ナイスポークマスコットキャラクターである「ナイス君」「ちいばちゃん」が参加し活動を盛り上げました。

動物及び畜産物の検疫業務を通じて水際防疫の徹底にご尽力頂いている検疫所の皆さまに対する御礼と今後とも引き続き、水際防疫の徹底をお願いする要望書を鎌川支所長に提出しました。

令和4年度 千葉県肉豚共進会

<旭市の岩岡直紀氏が農林水産大臣賞を受賞!>

令和4年度千葉県肉豚共進会を10月4日(火)～6日(木)旭市の千葉県食肉公社を会場として開催いたしました。

全体の成績としては、71組142頭の出品数で、上物頭数102頭、上物率71.8%、平均枝肉重量77.9kgという結果で、その中から比較審査を行い、旭市の岩岡直紀氏が名誉賞を受賞いたしました。



名誉賞 受賞者 旭市 岩岡直紀氏

名誉賞に輝いた岩岡氏の出品豚は、雌は極上で枝肉重量78.0kg、去勢は上で77.5kgとほぼ揃っており、枝肉のまとまりが良く、前軀から後軀にかけての流れ、枝肉の厚み、特に中軀の厚みに優れていました。

名誉賞の出品豚と次席の優等賞1席は、甲乙つけがたく僅差でありましたが、決め手となったのは脂肪の色の白さと中軀の厚みに優れているという点で、岩岡氏の出品豚を名誉賞といたしました。(生産課 金杉)



賞	出品 No.	市町村	氏名	上位入賞豚の買い増し	
名誉賞	58	旭市	岩岡 直紀	名誉賞	1000 円/kg
優等賞 1 席	74	旭市	(株)エンドウ	優等賞 (1 席～2 席)	100 円/kg
優等賞 2 席	42	香取市	角田 義浩	優等賞 (3 席～5 席)	50 円/kg
優等賞 3 席	15	成田市	齊藤農場	優等賞 (6 席～10 席)	30 円/kg
優等賞 4 席	41	香取市	青柳 康裕	極上	100 円/kg
優等賞 5 席	70	旭市	辻内 嘉明		

<脂肪酸の測定を実施>

令和5年1月から生産者、流通業者等のご要望に応じて測定可能となる脂肪酸測定のデモンストラーションを、専用機械を用いて行いました。

	オレイン酸	一価不飽和脂肪酸	多価不飽和脂肪酸	飽和脂肪酸
上位 11 組 (22 頭) 平均値	39.9	42.4	13.3	44.3

- ・多価不飽和脂肪酸・・・軟脂や酸化臭の原因になる。豚肉では「リノール酸」が代表的。
- ・一価不飽和脂肪酸・・・風味物質となり、多いと良い。代表的なものが「オレイン酸」。
- ・飽和脂肪酸・・・豚脂肪で多いと硬くなる。代表的なものは「パルチミン酸」「ステアリン酸」。



**「食の安全・安心」のための第1歩は、
「法令遵守」であることを
改めて認識してください。**

**地方競馬の収益金は
畜産の振興に
役立てられています。**



部 署		TEL	FAX
総務・企画部	総務課	043-242-5417(代)	043-238-1255
	企画課	043-242-6333	
事業部	経営・環境課	043-241-1738	
	衛生指導課	043-241-1738	
	生産課	043-241-3851	

Eメール : info@chiba.lin.gr.jp

URL http://chiba.lin.gr.jp

令和4年度臨時理事会の開催

令和4年6月27日、千葉市・プラザ菜の花において、当協会の令和4年度臨時理事会を開催し、会長、副会長、専務理事及び常務理事の選定について審議し、承認されました。（総務・企画部 武田）

【公益社団法人千葉県畜産協会 役員名簿】

役職名	氏名	所属団体	
		団体名	職名
会長	森 英介	公益社団法人千葉県畜産協会（学識経験）	会長
副会長	高橋 秀行	千葉県酪農農業協同組合連合会	代表理事会長
副会長	荒井 隆	全国農業協同組合連合会千葉県本部	県本部長
副会長	米本 弥一郎	旭市	市長
副会長	永井 淳	千葉県農業共済組合	家畜部部长
副会長	岩岡 喜久男	旭市養豚推進協議会	理事
専務理事	岡田 望	公益社団法人千葉県畜産協会（学識経験）	専務理事
常務理事	富田 耕太郎	公益社団法人千葉県畜産協会（学識経験）	常務理事
理事	大澤 浩司	千葉県農林水産部畜産課（学識経験）	畜産課長
理事	渡辺 理夫	千葉県肉牛生産農業協同組合	代表理事組合長
理事	向後 正	ちばみどり農業協同組合	常務理事
理事	菅谷 実	かとり農業協同組合	指導経済担当常務
理事	市川 陽一朗	公益社団法人 千葉県獣医師会	会長
理事	石井 裕	南房総市	市長
理事	蜂谷 良一	千葉県家畜商協同組合	理事長
理事	青柳 耕一	ナイスポークチバ推進協議会	会長
理事	秋庭 清一	山武市養豚組合	理事
代表監事	小茂田 勝己	千葉県農業協同組合中央会	専務理事
監事	斎藤 昌雄	千葉市畜産協会	会長
監事	伊藤 富治	一般社団法人 千葉県配合飼料価格安定基金協会	理事長
監事	金子 洋樹	金子公認会計士税理士事務所	公認会計士・税理士